

味爽

第四号 目次

平成十六年二月

巻頭言 新たな文藝復興への序奏

(四)

総力特集◎浪漫派変転

昭和の疾風怒濤時代

山本直人 (二〇)

痛快な反逆精神

中村一仁 (三〇)

個性ということ
—敗戦直後の林房雄を読む—

先崎彰容 (三八)

—橋川文三と小林秀雄のあいだ—

特別企画 読者アンケート

日本浪漫派とは何であつたか

(四六)

特別対談

【放談】日本浪漫派とその周辺

中村一仁×山本直人

(六)

連載

詩◎幻想交響曲第一番

村井絹史

(六四)

哀悼

ある浪漫派作家の死

中村一仁 (五一)

—鈴木助次郎さん追悼—

書評

歴史を眺める醒めた眼差し

山本直人 (六〇)

—川村二郎著『イロニアの大和』—

中村一仁 (六二)

「偉大なる敗北」を描いた大河小説

—辻井喬著『風の生涯』—

『味爽』読者の皆様へ

昭和の草莽歌人・村上一郎三十回忌特集のおしらせ

(二九)

編集者通信

(六六)

編集後記

(六八)